

景観マガジン 埼玉スタイル

S.Style no.6



MENUMA



FUKAYA



KASUKABE



AGANO

「歴史のみち景観モデル地区 景観まち歩き 総集編①」

妻沼地区（熊谷市）

深谷宿地区（深谷市）

粕壁宿地区（春日部市）

吾野宿地区（飯能市）



**坂田医院旧診療所。昭和6年開業 国登録有形文化財 妻沼地区（熊谷市）
令和元年（2019年）11月撮影**

2019 ラグビーW杯の余韻がまだ残っていた、令和元年（2019年）の年末頃から、世界的に蔓延し始めた新型コロナウイルスは、人類の生活を根底から覆し、未だその収束は見えていません。

感染予防のために、人と人の距離を取り、多数の人が集まるイベントは軒並み中止され、過年度から県民参加、また地元NPO、地元市町との協力のもと開催されてきた、埼玉県「歴史のみち景観モデル地区 景観まち歩き」の中止も余儀なくされています。国内はもとより、外国からの渡航者の制限もあり、全国の観光地は観光客の激減により、経済的に大きな打撃を受け、本県の観光地も例外ではありません。

しかしながら、他県への移動を控えるようなこの状況をポジティブに捉えれば、自分の住む身近な地域の良いところを見つけるチャンスであるとも言えます。

そこで、今号（no.6）、と次号（no.7）では、埼玉県内の8つの景観モデル地区における、コロナ禍前の「景観まち歩き」を総括することとしました。

no.6では、「歴史のみち景観モデル地区 景観まち歩き 総集編①」として、妻沼地区（熊谷市）、深谷宿地区（深谷市）、粕壁宿地区（春日部市）、吾野宿地区（飯能市）での景観まち歩きにおける、参加者募集ポスター、まち歩きコース、当日の状況等、各モデル地区の写真を中心にご紹介いたします。

是非、皆様、現地を訪れて頂き、身近な地域の良好な景観を発見して頂ければ幸いです。

景観

まち歩き

歴史のみち
景観モデル地区

知らなかった埼玉 ここにあります

国宝 歎喜院聖天堂 令和元年度 歴史のみち景観モデル地区 景観まち歩き 参加者募集ポスター

熊谷次郎直実、齊藤列当実盛等、多くの武蔵武士の根拠地であった、埼玉県北部に位置する熊谷市。江戸時代には中山道の熊谷宿として、明治初期には熊谷県の県庁所在地となった時期もあり、昭和の第2次世界大戦での空襲からの復興、平成の大合併を経て、平成16年には熊谷スポーツ文化公園をメイン会場とした国民体育大会が開催され、令和元年には熊谷スポーツ文化公園ラグビー場で、2019ラグビーW杯が開催されるなど、スポーツ分野に注力したまちづくりも進みつつあります。

妻沼地区には、享保20年(1735年)から宝暦10年(1760年)にかけて、林兵庫正清及び正信らによって建立された、国宝「妻沼聖天山 歎喜院聖天堂」が存し、多くの方が訪れています。

今回は、妻沼地区における令和元年度の「歴史のみち景観モデル地区 景観まち歩き」の様子、また、令和2年度、令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、景観まち歩きが中止されたものの、地元の埼玉県立妻沼高等学校写真部とのコラボレーションにより実現した、景観の取り組みをご紹介します。

まち歩きコースの御案内



○熊谷駅行きのバスは1時間に4本程度です。
○太田駅・西小泉駅行きのバスは1時間に2本程度の運行です。



めめま観光ガイドボランティア「阿うんの会」
(協力)縁結びの街めめま連絡協議会
熊谷市 都市計画課
埼玉県 田園都市づくり課

まち歩きは3者共同での取り組みです!

当日写真

妻沼地区 (熊谷市)



井田記念館 実業家井田友平の生家



妻沼聖天山 貴惣門 国指定重要文化



【国宝】妻沼聖天山 歓喜院聖天堂



歓喜院本坊にて



妻沼聖天山 歓喜院本坊

埼玉県立妻沼高等学校写真部とのコラボレーション

令和2年度、令和3年度は、県民参加による、「歴史のみち景観モデル地区 景観まち歩き」の中止が余儀なくされていましたが、地元の埼玉県立妻沼高等学校写真部とのコラボレーションにより、景観の取り組みを実施いたしました。

同校は全国写真展で優秀な成績を収めており、景観モデル地区である妻沼地区にほど近く、写真部の活動として、埼玉県の実施する広域景観形成支援プロジェクトとともに取り組んで頂きました。以下に取り組み状況を紹介させていただきます。

〈令和2年度〉

令和2年8月20日に妻沼高校にて、妻沼高等学校、熊谷市、埼玉県で打合せを実施し、令和2年9月5日に妻沼地区で動画撮影を実施しました。(以下の写真は、妻沼高校のホームページより転載)
動画は、埼玉県公式YouTube「サイタマ景観ちゃんねる」で公開中です。



妻沼高等学校にて打合せ



妻沼聖天山で動画撮影中



昭和58年(1983年)に廃線となった東武熊谷線車内にて。
熊谷市立妻沼展示館



動画編集中

埼玉県立妻沼高等学校写真部とのコラボレーション

〈令和3年度〉

令和3年8月5日～25日、埼玉県庁第2庁舎3階渡り廊下において、埼玉県立妻沼高等学校写真部の作品展を開催しました。

同校は、全国写真展で優秀な成績を収めており、今回の作品展では、高校生の視点で撮られた埼玉県の景観のほか、『第46回2021JPS展（主催：公益社団法人日本写真家協会）』18歳以下部門入選作品を展示しました。



妻沼高校写真部 × 埼玉県広域景観形成支援プロジェクト



作品展

～高校生の見た埼玉の景観～

日時 2021年8月5日(木) ～ 8月25日(水)
平日 午前8時30分～午後5時15分

場所 埼玉県庁第二庁舎 3階渡り廊下
さいたま市浦和区高砂3-15-1
(JR浦和駅から徒歩約10分)

入場無料

埼玉県立 妻沼高等学校
MENLMA HIGH SCHOOL

彩の国 埼玉県

【問い合わせ】
埼玉県都市整備部田園都市づくり課
(電話)048-830-5367
(メール)u5540-01@pref.saitama.lg.jp



作品展ポスター

展示風景



深谷宿地区（深谷市）



七ツ梅酒造跡 令和元年度 歴史のみち景観モデル地区 景観まち歩き 参加者募集ポスター

平安時代末期、源頼朝を支える武蔵武士の鑑とされ、鎌倉幕府の成立に多くの貢献を果たした畠山重忠を中心とする武士団の根拠地であった、埼玉県北部に位置する深谷市。

江戸時代には中山道の深谷宿として、明治20年（1887年）には渋沢栄一が日本で最初の機械式レンガ工場である、日本煉瓦製造会社を設立させ、明治21年（1888年）以降は日本煉瓦製造株式会社として、レンガを製造し、そのレンガは、東京駅をはじめ明治から大正にかけて多くの近代建築物である、司法省（現法務省）、日本銀行、旧東宮御所（現迎賓館赤坂離宮）、東京大学、旧東京裁判所、旧東京商業会議所等に使用されました。

景観モデル地区内の、江戸時代末期に創業した造り酒屋である、藤橋藤三郎商店のレンガ造煙突は、深谷宿の雰囲気と調和して地域のランドマークとなっていることから、平成25年3月に埼玉県景観重要建造物として指定されました。

今回は、深谷宿における令和元年度の「歴史のみち景観モデル地区 景観まち歩き」の様子をご紹介します。

当日写真

深谷宿地区（深谷市）



常盤園の煉瓦外壁 上段：小口積
下段：フランス積（窯変）



七ツ梅酒造跡



藤橋藤三郎商店のレンガ造煙突 埼玉県景観重要建造物

小林商店



深谷市のゆるキャラ
「ふっかちゃん」
（当日は、産業祭開催中）



滝澤酒造のレンガ煙突を望む

粕壁宿地区（春日部市）



羽子板ギャラリー匠一好 令和元年度 歴史のみち景観モデル地区 景観まち歩き 参加者募集ポスター

江戸時代、粕壁宿と呼ばれ、日光街道4番目の宿場町であり、岩槻往還や野田新道にもつながる交通の要衝として栄え、舟運も発達し、その面影を今に残している春日部市。

江戸期、多くは徳川家の御料所となり、大落古利根川には粕壁宿の新町橋近くの河岸場として、上喜蔵河岸（かみきぞうがし）や下喜蔵河岸（しもきぞうがし）が、江戸川には西宝珠花の河岸などがありました。

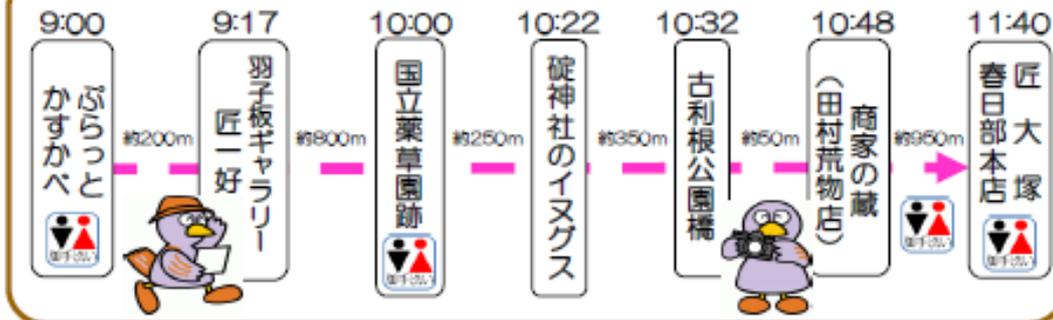
市内には、羽子板、桐箆笥、桐小箱、麦わら帽子といった伝統産業が存し、国指定特別天然記念物である、推定樹齢1200年の牛島の藤、市役所そばの藤通りなど、藤が「市の花」にも指定されて、市のシンボルとして親しまれています。

今回は、粕壁宿における令和元年度の「歴史のみち景観モデル地区 景観まち歩き」の様子をご紹介します。

～まち歩きコースの御案内～



予定時刻



※ 記載の時間は、まち歩きの所要時間の目安です。

春日部観光ボランティアの会
春日部市 都市計画課
埼玉県 田園都市づくり課

まち歩きは3者共同での取組みです！

当日写真

粕壁宿地区（春日部市）



浜島家住宅土蔵 国 登録有形文化財



名所案内



羽子板ギャラリー匠一好



碓神社のイヌグス 県指定天然記念物



東屋田村本店

麦わら帽子をコンセプトとした
モニュメントがある、古利根公園橋



吾野宿地区（飯能市）



カフェギャラリー吾野宿（大河原家） 令和元年度 歴史のみち景観モデル地区 景観まち歩き 参加者募集ポスター

埼玉県南西部に位置する飯能市。入間川の谷口集落である飯能の町は、17世紀後半から市（いち）で発展するとともに、入間川上流域に材木を筏流しをする材木商人が多数存在するようになり、西川林業の発展に大きく寄与してきました。

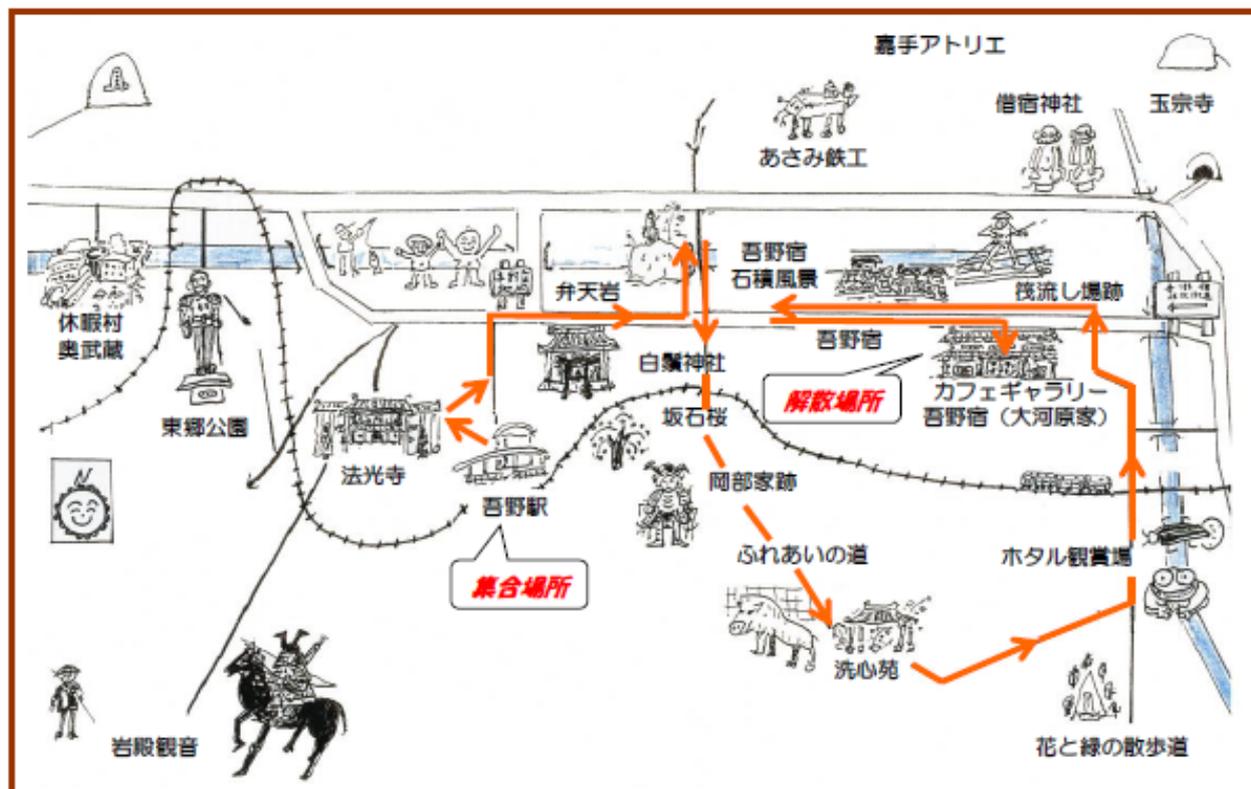
1868年（慶応4年）の飯能戦争では、江戸幕府の旧臣からなる彰義隊から分れた振武軍（頭取は渋沢成一郎、渋沢栄一の見立て養子の渋沢平九郎ら）と明治新政府方が交戦し、飯能の町の商家の多くが焼失しました。

1915年（大正4年）には、武蔵野鉄道（現在の西武池袋線）が開通し、材木の流通形態が劇的に変化し、飯能の駅前には多くの材木商が店を出し、飯能は材木の産地市場としての地位を確立しました。

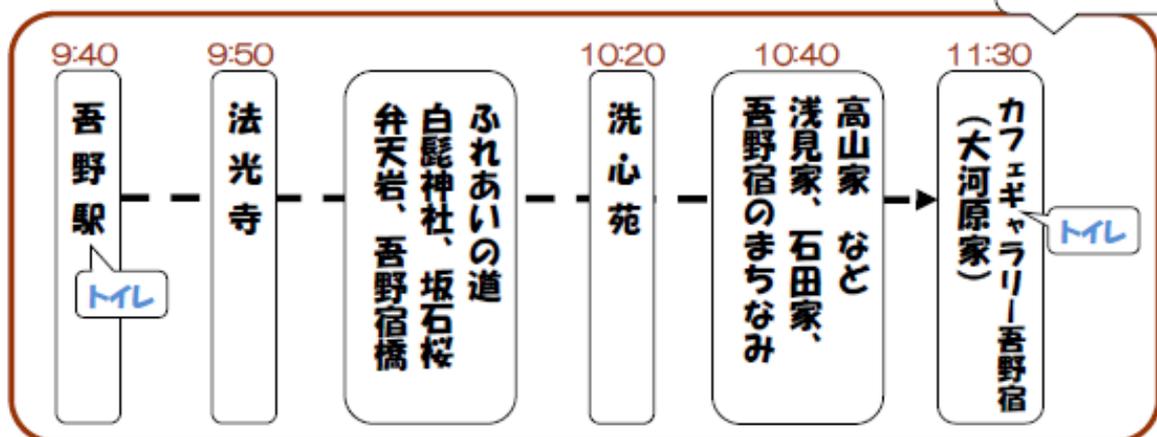
景観モデル地区である吾野宿地区は、江戸時代、秩父絹の商取引の道として、また秩父観音参り、秩父三山（秩父神社、宝登山神社、三峯神社）参りの道として秩父街道の馬継ぎの宿場として栄えました。

今回は、吾野宿地区における令和元年度の「歴史のみち景観モデル地区 景観まち歩き」の様子を紹介いたします。

～まち歩きコースの御案内～



約2キロのコースです！



○まち歩きの途中ではトイレ休憩がありません。出発前に駅で済ませておいてください。
○記載時間は、まち歩きの所要時間の目安になります。

吾野宿再生と吾野を語る会
協力：一般社団法人 埼玉県建築士事務所協会（景観整備機構）
飯能市 建築課
埼玉県 田園都市づくり課

まち歩きは3者共同での取り組みです！

当日写真

吾野宿地区（飯能市）



カフェギャラリー吾野宿（大河原家）



吾野駅から法光寺へ続く道



カフェギャラリー吾野宿（大河原家）。明治時代に武家屋敷長屋門を移築。

浅見家の蔵



石田家 大正初期築、擬洋風建築



景観マガジン 埼玉スタイル S.Style no.6

発行：埼玉県都市整備部田園都市づくり課 2022年3月

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1